

## 【副籍の交流紹介】



今号では副籍交流の直接交流についていくつかの例を、保護者の方の記録より御紹介いたします。1学期にほとんどの児童・生徒が挨拶訪問を終え、1回目の交流をスタートしたケースもあります。2学期以降に本格的に交流が始まっていきます。何か困ったことがある場合は、すぐに担任にご相談いただければと思います。

### <小学部1年生 直接交流（帰りの会への参加）>

クラスの2人の女の子が原稿を読みながら司会をしてくださって、スポーツデイで披露したという踊りを全員でダンスしてくれました。自己紹介では名前と一言を伝え、〇〇さんから、一人一人手書きのメッセージと似顔絵が記入された用紙をファイリングされた物をいただきました。質疑応答では、何人もの方が挙手してくださって、様々な質問をしていただき、母が代わりに答えました。最後に一人一人順番に息子の元まで来てくれて、ハイタッチと「よろしくね」と声掛けしあいました。担任の先生もクラスのお友達皆さんもすごく優しく接してくださって、緊張気味だった息子も自然と打ち解けることができ、今後の交流もすごく楽しみになりました。

### <小学部2年生 直接交流（帰りの会への参加）>

2年生になり初回の副籍でしたので、少し緊張しましたが、先生をはじめクラスのお友達もとても温かく迎えてくださり、短い時間の中でも充実した楽しい時間となりました。

1年間交流するクラスメイトの顔と名前が覚えられるようにと、名札をつけてくれたり、自己紹介を兼ねて特技を披露する等をしていただき、1年生とはまた違って、一人一人の個性も感じられ、お友達との距離もぐっと近くなったように感じます。爆弾ゲームでは輪になってボールを回し、音楽が止まった時にボールを持っていた人が、娘に向かって一言言ってくれるというゲームでした。「仲良くしましょう！」や「たくさん遊ぼう！」等、やさしい声をかけて頂きました。最後に黒板にクラスメイトが目いっぱい描いてくれた絵を背にみんなで記念写真を撮りました。娘も終始楽しそうにしており、今後の交流もとても楽しみです。



### <小学部5年生 直接交流（帰りの会への参加）>

昨年の初日に比べるとスムーズに教室に入ることができました。教室の前に出ると、緊張したようで、私の後ろに隠れてしまいましたが、幼稚園のお友達が質問する形で最後まで自己紹介をすることができました。最後に「さようなら」をしたあとに、クラスの子から「〇〇のこと覚えているよ。忘れるわけじゃないじゃん」と言ってもらえて、息子も嬉しそうな顔をしていました。今年は昨年よりクラスの子たちとたくさん交流できたらいいなと思いました。



### <中学部3年生 直接交流（音楽の授業と帰りの会への参加）>

初めての授業参加でしたが、1年生の時に一度交流したことあるお友達が、積極的に話しかけてくれて、すぐに打ち解けていました。ほかのお友達も自己紹介カードを見てくれていて、挨拶してくれたり、自作のお面をかぶりながら息子も自らどんどん話しかけ、交流を楽しんでいました。帰りの会では、担任の先生にお面をプレゼントし、それを先生がずっとかぶってくれて、とても楽しい帰りの会となりました。音楽の授業で歌っていた曲は、今回知らない曲でしたので歌えませんでした。練習すれば一緒に歌えると思うので、準備したいと思います。2学期も機会があればどんどん授業参加させていただきたいです。

交流を進めていく上で大切なことは、『できることから少しずつ、無理なく、長く続けていくこと』です。ここでは、本校で行ってきた交流の一例を紹介します。今後の交流を考える際、参考にしてください。

#### <直接交流>

- 小・中学校に訪問して、学校便りを届ける。  
(帰りの会、放課後等)
- 行事の参観(運動会・音楽会・学芸会・  
展覧会・書初め展等)
- クラブ活動に参加。
- 全校集会に参加。
- クラスでの紹介。  
(帰りの会や学級活動などの授業時間  
に紹介をする)
- 授業への参加。(各教科・学級活動等)
- 部活動の参観・参加。

など

#### <間接交流>

- 学校便りの交換をする。(自宅にお便りが届く)
- 学校行事の案内やプログラム、招待状をもらう。
- 本人についての自己紹介カードや通信を作成し、小・中学校で紹介や掲示をする。
- 本人や保護者作成のお手紙を届ける。
- 小・中学校の学校だより・学年だよりにて、副籍交流の紹介をする。

など

